

# コロナと外国人住民

(COVID-19)

日時：2020年10月16日（金）午後6時30分

講師：佐藤信行さん（在日韓国人問題研究所 所長）

「コロナ禍でさらに排除される人々 ～難民・移民支援基金から」

講師：西千津さん

（カトリック札幌司教区 難民移住移動者委員会 スタッフ）

「北海道の留学生や技能実習生たちの状況」

## 移住労働者も社会の一員です！

### 「移民・難民緊急支援基金」に 寄せられた声の一部より

仮放免中。日本人の妻と昨年結婚して5月に息子が生まれた。  
妻は出産直後で仕事はできず、生活に困窮している。（20代父母と幼児）

6月に仮放免となり、家族のもとで暮らしている。  
父は足の病気を患い、しかも弁当屋の勤務が少なくなり、  
大幅に減収。母はガンの手術を受けて働けず。（30代女性）

コロナ禍で仕事がなくなった。  
特別給付金は中学生と高校生の子どもの学費で無くなった。  
友人から資金援助をしてもらいなんとかしのいでいる。  
（40代夫婦と子ども2人／定住者）

昨年春に、母がアメリカ国籍の同胞と再婚し、  
渡米後、送ってくれる仕送りで家賃や学費を支払い、  
飲食店のアルバイトで生活してきた。  
しかし、コロナ禍でアルバイト先から雇い止め。  
また母からの仕送りも止まってしまった。  
（高校3年生／定住者）

同郷者の家に居候し、生活の面倒を見てもらっているが、  
コロナの影響で同郷者の収入も減り、生活が苦しい。（30代男性）

母子は長年、非正規滞在者として暮らし、  
7年前に定住者の在留資格を得た。母は病気がちでもあり、  
生活保護の受給も進められたが、食品工場で働き、  
息子のアルバイト収入もあった。しかしコロナ禍により、  
母の収入は半減し、息子のアルバイトも無くなってしまった。  
（50代母と子ども／定住者）

父は非正規滞在中に働いていたが、2018年に摘発され、収容された。  
昨年、仮放免されたが、直後からひどい歯の痛みや心臓の疾患などで治療が必要。  
母と子どもたちは生活保護受給中だが、父はまったく収入が無い中で  
医療費もかさみ、家賃滞納を繰り返している。（50代父母と子ども3人）

## 会場・参加方法：

直接、会場にお越しください

- ① 日本聖公会 札幌キリスト教会  
札幌市北区北8条西6丁目
- ② 札幌司教区カトリックセンター  
札幌市中央区北1条東6丁目10
- ③ 日本ルーテル教団 北見ルーテル教会  
北見市公園町5-9
- ④ 日本基督教団 旭川豊岡教会  
旭川市6条通25丁目
- ⑤ 日本福音ルーテル函館教会  
函館市五稜郭町29-24

その他に、個人でオンライン参加

- ⑥ 10月9日までにお申し込みください。  
kitamichurch@gmail.com

## 参加費：無料

主催：日本基督教団 北海教区 平和部門委員会

共催：北海道外キ連

（外国人住民基本法の制定を求める北海道キリスト教連絡協議会）

加盟教派：

在日大韓基督教会札幌教会  
日本基督教団北海教区  
カトリック札幌司教区  
日本キリスト教会北海道中会  
日本バプテスト連盟北海道バプテスト地方連合  
日本聖公会北海道教区  
日本ルーテル教団北海道地区